

# 令和8年度「総務部の重点課題と目標」

総務部長 長谷川和秀

## 1 シティプロモーション推進による本市のイメージアップ、認知度向上

まちを持続的に発展させることを目的とし、市内向け、市外向けのプロモーションを行います。市内向けプロモーションでは、まちの魅力を効果的に発信することにより、「米子市」を自発的に発信してくれる人を増やしていきます。市外向けプロモーションでは、米子市のことを知る、気になる、興味をもつ、調べるといったプロセスを通じ、本市への来訪やふるさと納税といった行動を促進します。

## 2 借地の解消及び借地料の適正化

借地の解消を図るため、地権者との買取交渉を進め、買取困難地については返地の可能性について検討します。また、借地料の適正化を図るため、借地料の改定交渉が不調に終わっている地権者との継続交渉を行うほか、現行の借地料を基準により算出した額となるよう交渉します。

## 3 BPR（ビジネス・プロセス・リエンジニアリング）の実施

2040年問題による組織の縮小を見据え、少ない職員数でも市民サービスを維持するため、BPRの取組を継続し生産性の向上を図ります。

## 4 人材確保と定着の強化

労働市場の変化を踏まえ、戦略的な人材確保と本市の魅力発信を進めるとともに、柔軟で働きやすい職場づくりと人材育成を推進します。これにより、職員の定着と能力発揮を促進し、持続可能で質の高い市民サービスを提供する体制の充実を図ります。

## 5 持続可能な財政基盤の確立

まちづくりビジョンを実現するための各種施策を展開できる持続可能な財政基盤の確立に向けて、財政健全化判断比率と財政調整型基金残高の適正な水準の維持を図るとともに、歳入の確保や適切な予算執行の徹底に取り組みます。

## 6 適正な入札・契約制度の構築及び運用

工事入札で電子入札への移行を拡大し、米子市建設工事等入札・契約審議会等で検証を行い、また国、県の動向を注視し、適宜入札・契約制度の見直しを行うなど円滑な実施に向け取り組みます。

## 7 公共建築物の省エネルギー化、環境負荷低減の推進

公共建築物に係る営繕業務を確実に遂行するため、積極的に省エネルギー技術・高断熱性能建材の採用など、さまざまな技術提案を行い、公共建築物の省エネ及び環境負荷の低減に努め脱炭素化を推進していきます。ZEB化をはじめ、空調・換気・建築計画並びに自然エネルギー等の活用について取り組みます。

# 令和 8 年度「総務部（防災安全課）の重点課題と目標」

総務部防災安全監 高浦琢自

## 1 危機管理体制の充実強化

市民への防災に関する知識等の啓発及び災害対応能力の向上を図るため、防災関係組織と連携した一般災害防災訓練等及び県と連携した原子力防災訓練に取り組みます。J アラート受信機及び洪水ハザードマップの更新を適切に実施し、防災情報伝達手段の確保を図ります。また、職員を対象とした災害時対応研修を実施し、職員の災害等応力の向上をめざします。

## 2 地域防災力（消防団）の充実強化

消防団活動の充実を図るため、資機材の更新を行います。また、合同訓練を通じた消防署との連携強化、女性分団や少年消防クラブの活動活性化、広報活動等を通じた消防団員の確保等に努め、地域防災力（消防団）の充実強化に取り組みます。

# 令和8年度「総合政策部の重点課題と目標」

総合政策部長 西川泰介

## 1 地域未来戦略をはじめとした国政策と呼応する「住んで楽しいまちづくり」

国・県が策定する「地域未来戦略」と連動させつつ、本市の強みを活かした、「新たな米子のまちづくり」を推進します。国に新たに採択された「ふるさと住民登録制度モデル事業」を展開するなかで、ANAグループ等との協働による二地域居住の促進に加え、県や近隣自治体との連携により、関係人口の拡大・濃密化を図ります。さらに、鳥取県西部圏域の牽引役として広域連携を強化することで、誰もが「住んで楽しい」と実感できる米子のまちを創ります。

## 2 まちなかと郊外の一体的な発展（コンパクト・プラス・ネットワーク）

米子駅周辺・角盤町・米子港のエリアでウォークアブル推進事業を展開し、賑わいと回遊性に溢れる都市空間を創出します。駅前通りについては、これまでの実証実験の結果を精査し、歩行空間と道路空間の将来のあり方について関係機関と共同で調査・検証を進めます。郊外においては、弓浜・南部地区等の「まちづくり構想」の策定や土地利用の検討を着実に推進します。あわせて、レベル4自動運転の実装推進、淀江駅の改修、バス路線の再編や利活用促進等を一体的に進めることで、まちなかと郊外を結ぶ都市基盤を整備します。

## 3 公民館を拠点とした地域づくり

これまでの社会教育施設の役割から地域コミュニティの核となりえる公民館の拠点機能の強化に向け、計画的な改修・整備を進めます。地域活動支援員の配置や自治会活動のデジタル化支援により、年々増加する公民館や自治会の負担軽減を行い、住民が参画しやすい体制整備を進めます。加えて、自主防災組織の充実や個別避難計画の作成を推進することにより、安全・安心な地域づくりを行います。

## 4 互いの人権を尊重し、誰もが輝くことができる共生のまちづくり

同和問題をはじめとする様々な人権課題への正しい理解と認識を深める啓発活動を多角的に展開し、互いの人権を尊重し合う社会をめざします。また、男女共同参画センターを拠点とした女性活躍の支援、日本語教室の充実や防災訓練等を通じた外国人住民と地域住民の関係づくりなど、誰もが地域社会の構成員として尊重され、共に支え合う「共生のまちづくり」を推進します。

## 5 医大再整備に伴う一体的な周辺まちづくりの推進

鳥取大学医学部附属病院の再整備に伴う「ホスピタルパーク構想」の実現に向け、湊山公園の再整備や児童文化センターと鳥取大学医学部との共創施設の検討を関係部署と連携して進め、米子城跡や米子港周辺を含めた地区一体が魅力あるエリアとなるよう、新たな賑わい拠点として整備を進めます。

# 令和 8 年度「DX 推進監の重点課題と目標」

DX 推進監 堀口修治

## 1 自治体 DX、デジタルを活用した事務の効率化

AI を始めとするデジタル技術を活用した行政手法の変革を推し進め、業務の効率化とともに、市民サービスの向上を図ります。

## 2 地域社会 DX の推進

国の交付金等を活用してデジタル実装を推進し、地域の課題解決、市民生活の向上をめざします。

## 令和8年度「淀江支所の重点課題と目標」

淀江支所長 山浦敦史

### 1 淀江ゆめ温泉の完全民営化に向けた協議の本格化

指定管理者を優先交渉相手とし、経営及び施設の状況を踏まえながら、完全民営化に向けた条件整理に関する協議を進めます。

### 2 淀江どんぐり村の売却に向けた事務の推進

売却方法の検討や関係機関との調整を図りながら、公募型プロポーザル方式による売却をめざします。

### 3 淀江支所の時間外庁舎管理体制の見直し

淀江支所の時間外における庁舎管理体制について、費用対効果や業務実態を検証し、効率的かつ適正な管理体制への見直しを行います。

# 令和8年度「市民生活部の重点課題と目標」

市民生活部長 松本清志

## 1 デジタル化の進展に合わせた更なる窓口サービスの充実

基幹業務システムの標準化や戸籍及び住民票の氏名の振り仮名法制化、BPRの実施など、届出・証明発行等の窓口業務におけるDXの着実な推進等により、窓口サービスにおける事務の効率化及び市民サービスの利便性の向上を図ります。

## 2 市税、国民健康保険料等の徴収率の向上

文書による早期催告、電話による早期折衝の実施により、納付意識の高揚と納付忘れの解消に努め、徹底した進行管理のもと適切な滞納整理を行うとともに、人材育成や共同での滞納整理などを通じて県税事務所との更なる連携強化を図り、次の目標徴収率以上をめざします。本市の公金収納にかかる徴収困難事案について、移管受入を実施するとともに庁内の徴収事務のスキルアップを図ります。

市税等区分/目標徴収率	現年度分	滞納繰越分
市税	99.42%	27.31%
国民健康保険料	95.19%	30.67%
後期高齢者医療保険料	99.66%	44.93%

## 3 地球温暖化対策の取組の推進

2050年のカーボンニュートラル達成に向けて、市民、事業者、行政等の協働を促進します。また、公共施設や荒廃した農地への太陽光発電設備の設置等、脱炭素先行地域づくり事業を着実に実施・運用するとともに、エネルギー効率の高い設備の導入等、市域のCO2排出削減の取組を推進します。

## 4 本市の実情に応じたごみ処理システムの構築

「米子市一般廃棄物処理基本計画」に基づき、ごみ出しが困難な高齢者及び障がい者へのごみ出し支援施策を実施しながら、更なる支援施策の検討を行います。また、近年全国の廃棄物処理施設や収集運搬車両において火災の原因となっているリチウムイオン充電機類について、電池を取り外せるものは分別収集、取り外せない家電製品は小型家電リサイクルとして回収しながら、今後の回収体制について検討を行います。

## 5 環境保全活動及び環境学習の推進

関係団体と連携して、中海一斉清掃、シーサイドクリーンアップ事業、市職員の率先運動「みんなで美しいエンジョイよなご」等の環境保全活動を実施するほか、YouTube「よなご環境 ch.」、デジタルサイネージ等の媒体を活用し、様々な年代層に向けて、脱炭素社会の実現、4Rの推進、動物愛護及び管理、ヌカカ対策等の環境に関する普及啓発活動を実施し、市民の環境意識の向上を図ります。

# 令和8年度「福祉保健部の重点課題と目標」

福祉保健部長 足立泰司

## 1 包括的支援体制の充実・強化

単身世帯の増加や住民ニーズの多様化等を起因とする孤独・孤立を防ぐため、「えしこに」を中心とした庁内連携や多機関との協働による相談・支援体制の充実を図るとともに、地域における支え合い活動を自発的かつ持続的に展開されるための共助の仕組みづくりに取り組みます。

## 2 第10期高齢者保健福祉・介護保険事業計画の策定

現行の第9期計画の進捗管理を行うとともに、認知症施策、フレイル予防施策、給付の適正化、地域包括支援センターの業務効率化等の検討を行い、第10期高齢者保健福祉・介護保険事業計画の策定を行います。

## 3 認知症の人や家族を支える人材等の確保と効果的活用

幅広い層を対象にした認知症サポーター養成講座の実施と、講座受講後の活動の場とのマッチングや情報提供を行う仕組みの構築を行うとともに、ピアサポート体制の強化による、地域共生ネットワークの構築を行います。

## 4 身寄りのない高齢者支援施策の推進・官民連携の強化

「身寄りのない高齢者等あんしんサポート事業」の効果検証を通じ、死後事務を含めた今後の支援のあり方を検討するとともに、実務者ネットワークの構築や庁内の事務処理体制の強化を図ります。

## 5 障がいのある人への相談支援体制の整備と充実・強化

障がいのある人への相談支援体制の課題について、事業者等の関係者を交えて検討し、体制整備と充実強化を図ります。特に基幹相談支援センター及び一般相談事業については、個別課題の整理を行い、相談支援体制のあり方を検討します。

## 6 フレイル予防の習慣化

健康寿命の延伸に向けて、市民が自身の加齢変化に気づき、自発的にまた、日常的にフレイル予防に取り組むことができるよう、民間事業者や地域関係者と協働・連携しながら事業を展開します。また、食を通じた予防策や、働く世代からの対策について積極的に啓発し、幅広い年代でフレイル予防の習慣化につなげます。

# 令和8年度「経済部の重点課題と目標」

経済部長 石田晃

## 1 企業誘致対策の推進

鳥取県、市関西事務所等と連携し、効果的な企業訪問を行い、経済状況の変化や企業ニーズなどを積極的に収集した上で、企業誘致（増設含む）を実現します。また、企業ニーズに合致した用地確保を行うため、関係機関等と連携して情報収集及び候補地の状況把握に取り組みます。併せて、民間活力の活用による用地確保、開発支援等について、サウンディング調査を実施し、実現可能な方法を整理します。

## 2 商店街等ウォークブル推進エリアの振興施策の推進

商店街等のウォークブル推進エリアにおいて、環境整備や賑わい創出、魅力向上に取り組む事業者を支援します。商店街振興組合などの地元関係者や庁内関係部署との連携し、事業を円滑に推進します。また、夜間の消費機会を拡大する「ナイトタイムエコノミー」の取組を推進し、地域の活性化を図ります。

## 3 地産外商・販路拡大の促進

ふるさと納税制度を活用し、市内事業者との連携を深め、現場訪問を通じた魅力ある製品の発掘やニーズを捉えた返礼品造成により、本市の魅力を発信します。広告の強化や首都圏アンテナショップでの試食販売会を通じて新規寄附者を獲得するとともに、返礼品提供事業者を対象とした商談会を開催することで、ふるさと納税制度を軸とした販路拡大を支援します。また、台湾をはじめとする海外市場への販路拡大に取り組む事業者を支援し、地域経済の持続的な発展につなげます。

## 4 荒廃農地対策及び農業基盤整備

既存事業の活用による荒廃農地の解消及び発生予防を行い、併せて、農業生産基盤の更なる機能向上のため、農業基盤整備を推進することで、特産品の生産振興と農業収益の向上に資する環境づくりに努めます。

# 令和8年度「経済部文化観光局の重点課題と目標」

経済部文化観光局長 成田博頭

## 1 米子城跡の保存整備及び情報発信の推進

登城者の安全等に支障となる樹木の伐採等を実施します。併せて、三の丸広場の整備工事が完了することに伴い、今後の継続的な活用を見据えた完成記念イベントを本年10月に開催します。これにより周辺エリアの拠点としての魅力向上及び周遊性を高める取組を推進していきます。また、保存整備事業に対する理解を深めるための周知・啓発を強化し、米子城の魅力を発信するためのダイヤモンド大山観望会や石垣のライトアップ、現地ウォークなどを引き続き実施するとともに、米子城の歴史に焦点をあてたPRにも力を入れ、県内外に向けた積極的な情報発信に努めます。

## 2 観光客受入環境整備等の推進

中海憩いのテラス整備工事が完了することに伴い、本年6月に今後の活用を見据えた完成記念イベントを開催するとともに、テラスを活用される民間事業者を支援し、周辺エリアの拠点としての魅力の向上を図り、周遊性を高める取組を進めます。また、米子空港への国際航空路線等の利用者の誘客に向けた情報発信を行うとともに、インバウンド観光客等を積極的にお迎えする飲食及び飲食事業者の支援等の実施により受入環境を整備します。併せて、皆生温泉においては、空き不動産の活用促進や海岸遊歩道沿いの滞留空間の整備を引き続き実施し、宿泊者の増加及び経済活動拡大につなげていきます。

## 3 米子アリーナの整備

鳥取県等の関係者と緊密な連携を図りながら、事業計画に沿った施工内容や地元住民等との調整を行い、米子アリーナ新築工事の進捗を図ります。併せて、隣接工事である米子アリーナ非常用発電設備工事及び防災倉庫新築工事の調整を行い、円滑な進捗を図ります。

## 4 尾高城跡の保存整備

尾高城跡の現状を把握するために指定地内全体の詳細な測量を実施し、保存活用計画の策定に向けた取組を進めます。

# 令和8年度「都市整備部の重点課題と目標」

都市整備部長 山中敬太

## 1 米子・境港間の高規格道路の整備促進

米子・境港間高規格道路の早期事業化に向けて、計画段階評価の手続きを着実に進めるために、国土交通省をはじめ、必要な中央省庁や地元選出国會議員に対し、鳥取県や関係機関及び「米子・境港間を結ぶ高規格道路建設推進議員連盟」、「中海・宍道湖8の字ルート推進会議」と連携し、総決起大会や要望活動などを継続して実施します。同時に圏域全体での機運醸成の取組みについても、鳥取県や関係自治体と一体となって進めていきます。

## 2 空家等対策の推進

高齢者世帯を含む幅広い世帯に対する意識啓発を実施し、空き家の発生抑制に取り組めます。財産管理制度を活用し、空き家の流通を促進します。管理不全空家等及び特定空家等の所有者に対する助言・指導等の実施を通じ、空き家の適切な管理を促すとともに、空き家の除却促進のための新たな施策を検討します。庁内連携会議や民間事業者との意見交換等を行い、実効性のある施策を検討します。

## 3 鳥取大学医学部附属病院の再整備を契機とした湊山公園のリニューアル

鳥取大学医学部附属病院の再整備を契機として、湊山公園をその周辺の優れた景観や歴史資源を活かし、湊山公園と新病院周辺に一体性をもたせながら、より一層魅力を高めた公園としてリニューアルします。令和8年度は住民説明会の開催や鳥取大学医学部及び関係部署等との協議により基本設計をとりまとめるとともに、都市計画変更手続き及び令和9年度からの工事着手に向けた実施設計を行います。

# 令和8年度「米子市上下水道局の重点課題と目標」

上下水道局長 下関浩次

## 1 災害に強い施設・管路の整備

上下水道耐震化計画に基づき、急所施設・管路の耐震化を優先的に進めるとともに、発災時に社会的影響の大きい上下水道管路の老朽化対策を強化します。

前年度に供用開始した石州府水源地の運用状況を踏まえ、東部地区の再編に必要な整備、更新を行い、水運用の効率化と緊急時におけるバックアップ機能の強化を図ります。

## 2 上下水道広域連携の推進

県西部域の上下水道事業体と連携し、会計及び料金システムの共同化等、事務の効率化、災害時を含めた体制強化を図ります。

## 3 持続可能な事業運営を目指した計画の取組

上下水道施設の健全度等の調査結果に基づく維持管理・更新計画により、安全・安心の確保、トータルコストの縮減、予算の平準化等を反映した事業を推進します。適正口径を考慮したスペックダウンや施設のダウンサイジングなど、将来の水需要を踏まえた更新を計画的に行います。「米子市下水道施設全体最適計画」に基づき、農業集落排水施設の統廃合や公共下水道への編入に向け、令和8年度から9年度にかけて雨天時の浸入水対策計画の策定や農集統廃合の計画工程等を定めます。あわせて、処理場再構築事業を推進し、施設の集約・統廃合や設備の省エネルギー化などを図り、脱炭素化を踏まえた効率的な再構築を実施します。

## 4 概成に向けた計画的な管路施設の整備

令和8年度末の汚水処理人口普及率95%の達成に向け、未整備地域の新規管路整備を推進します。

## 5 合併処理浄化槽の普及促進と適正管理

単独処理浄化槽や汲み取り槽から合併処理浄化槽への切り替えを促進する取組を行うことで、汚水処理人口普及率の向上を図ります。生活排水対策の目的について広報啓発に努め、令和8年度から実施の合併処理浄化槽維持管理費補助金制度により、浄化槽の適正な維持管理体制の構築を図ります。

## 6 下水道施設維持管理の官民連携推進

下水道インフラを次世代に引き継ぐための手段として、民間の創意・工夫を活用し、維持管理と更新を一体化した効果的な施設管理を実現するため、ウォーターPPP導入に向けた取組を推進します。

# 令和8年度「こども総本部の重点課題と目標」

こども総本部長 塚田容子

## 1 教育と福祉保健が一体となった切れ目のない支援の充実

### (1) 幼稚園・保育所等と小学校との円滑な連携・接続の推進

全ての子どもが幼稚園、保育所等から小学校へスムーズに移行し、適応できるように、幼稚園、保育所等と小学校とが協力して、幼保小の円滑な連携・接続の推進を図ります。

### (2) 地域における子どもの居場所づくりの推進

放課後児童クラブ、放課後子ども教室、子ども食堂など、多様な居場所の拡充を図るとともに、地域資源をいかした体験機会を充実させ、子どもが豊かに育ち、自立できる環境づくりを推進します。

## 2 社会教育の更なる推進（家庭教育支援の推進）

全ての保護者が安心感と自信を持って家庭教育を行えるように、保護者への学習機会の提供や保護者同士の仲間づくり、相談対応等の支援体制の充実を図ります。また、広く市民を対象とした啓発活動を行い、社会全体で子育て世帯を支援する気運の醸成を図ります。

## 3 DXの推進（子ども・子育て関係業務のDXの推進）

自治体フロントヤードモデル事業を活用した業務のDXを進めます。市民サービス向上を主眼に置いたBPRに取り組みます。

## 4 公立保育所の統廃合・建て替えの推進

公立保育所建て替え構想に基づき、計画的に公立保育所の統廃合・建て替えを進めます。

## 5 児童文化センターと鳥取大学体育館機能との共創施設の整備

児童文化センターと鳥取大学体育館機能との共創施設の整備に向けて、「共創施設基本構想」及び「共創施設基本計画」の策定を進めます。

# 令和8年度「教育委員会事務局の重点課題と目標」

教育委員会事務局長 金川和弘

## 1 教育と福祉保健が一体となった切れ目のない支援の充実

### (1) 生徒指導上の諸課題に対する未然防止の更なる充実と、チーム学校による組織的かつ効果的な早期対応の徹底

いじめや不登校等の生徒指導上の諸課題について、未然防止の各取組を一層充実させるとともに、事案発生の際に迅速な情報の共有と対応策の検討を行います。このように早期対応の徹底を図ることで、課題の長期化・困難化を防ぎます。

### (2) 切れ目のない支援体制の整備と特別支援教育の充実

保幼小の連携を深め、スムーズな接続を目指すとともに、学校における特別支援教育体制の検証・整備を行います。

## 2 社会教育の更なる推進

### (1) 社会教育行政の体制整備及び地域人材育成の推進

社会教育関係課が連携し、情報共有・共通認識を持ち、社会教育を推進します。自主的・継続的に地域課題を解決できる地域人材を育成します。

### (2) コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進

地域とともにある学校づくりを行う「学校運営協議会」での熟議を通して学校を核とした地域づくりをめざします。地域と学校が連携・協働して行う「地域学校協働活動」の充実に向けた支援に努めます。また、定期的な研修会の開催等を通じて、取組みの質的向上と市民への周知・啓発を図ります。

## 3 DXの推進（学校事務のBPRとDXの推進）

給食費、補助教材費などの学校徴収金について、保護者の利便性の向上、金銭管理の適正化及び学校の事務負担の軽減を図るため、課題解決に向けた取組を推進するほか、学校の業務改善に資するDXを進めます。

## 4 「米子市教育振興基本計画」の改定

現行の計画が令和8年度末をもって終了することに伴い、これからの時代に応じた教育振興を計画的に進めるための次期計画の策定を行います。

## 5 学力向上へ向けた取組の推進

個に応じた学びを実現する指導・支援と豊かな体験活動のより一層の充実に努めるなど、児童生徒の学力向上に向けた取組を推進します。併せて、各種研修会を通じて教職員の授業力の向上を図ります。

## 6 教育環境の向上へ向けた施設整備の推進

学校施設の長寿命化及び充実化に向け、空調設備の整備、校舎等の改修、校庭の芝生化、照明のLED化等を推進します。

## 7 美保地区義務教育学校の設置事業の推進

美保中学校区の4小中学校の統廃合・義務教育学校の設置に向けた準備を推進します。